

「リウマチ手記」匿名希望 41歳

2014年8月23日

リウマチとの出会いは2010年2月、これまで経験したことがないような激痛で目覚めたのが始まりです。痛みで左肩が上がらず、ベッドから起き上がるにも時間を要し、やっとの思いで職場に辿り着く。お昼休みに職場近くの針鍼灸院に行き電気をあてて貰う。夕方には痛みも落ち着き翌朝には何もなかったかのように痛みは消える。2、3日後に今度は反対側の肩が痛くなりその後、足首、足裏、足の甲、手の親指や、人差し指の付け根など次から次へと痛みが移動していきました。口も開けられず唾液を飲み込むと喉と耳まで痛くなることもありました。10日間程、痛みは繰り返しましたが、病名を告げられることなく原因不明のままでした。

2010年3月再び激痛が起こり自宅近くのN整形外科に行く。回帰性リウマチと診断される。ロキソニンを処方される。1日1回～3回痛みの度合いに応じて服用。

2010年10月結婚を機に西宮へ引っ越す。O整形外科でアザルフィジンを処方される。1日2錠を2012年2月まで服用することになる。足首や足裏、足の甲が痛みびっこを引いて歩く程でした。手首の痛みで雑巾が絞れなかったり布団の上げ下げが出来ない。包丁も重くて握れない。財布から小銭が取り出せないこともありました。朝のこわばりから始まり、微熱と倦怠感で何をするのも億劫でした。

2011年8月H医科大学を紹介してもらう。アザルフィジンに加えリウマトレックス(週に2錠)も処方される。ときどき痛みはあったが日常生活を普通に過ごせるようになる。しかし微熱と倦怠感は度々続きました。

2012年1月高槻市へ引っ越すことになり、自宅近くのIクリニックに通う。アザルフィジンを止めリウマトレックスのみ続けることになる。この頃から口を開けることが出来なくなり右顎の痛みで悩まされる。食事や歯磨きもままならぬ生活でした。医者にはリウマチで顎が痛くなるのは考えられないと言われる。虫歯か親知らずではないかと疑い歯医者に行ってみたが原因不明のままであった。これ以上Iクリニックに通院しても無駄と思い他の病院を探していたところ松本医院のHPを見つける。

2012年8月初めて松本医院を訪れ、右顎の痛みはヘルペスと診断される。リウマチもヘルペスも鼻炎も全部治してあげると言われる。血液と尿検査をし、針とお灸をして貰う。煎じ薬2種類と鼻炎の粉末薬とベルクスロン1日10錠と入浴剤2回分を処方してもらう。今までの病院とは方針や治療方法が全く違うので期待と不安でいっぱいでしたがやるからには信じてやろうと決意しました。1週間に1度のペースで通院することになり、10ヶ月後には2週間に1度の通院になる。

2012年9月松本医院での治療を開始して1ヶ月が過ぎた頃、再び激痛が起こる。

これが例のリバウンドです。初めてリウマチになったときの痛みの数十倍の痛みです。右顎、肩、腕、手首、手の指先、わき腹、股関節、足首、足の甲、足裏など毎日身体のあちこちで激痛が起こる。唾液を飲み込むだけで喉と耳が痛くて鼓膜が破れるのではないかと思う程でした。痛みは午後に筋肉痛程度から始まり、夕方から夜にかけて倍増する。お灸をしても痛みは気休め程度でしかありませんでした。夜中の0時～2時頃に痛みはピークに達し激痛で明け方まで眠れませんでした。不思議なことに朝6時頃になると痛みがスッと消え眠れる状態になりましたが仕事がある為、結局一睡もせずに出社する日が続きました。痛みを耐え、時間が経つのをただ待つだけなのがとても辛く長く感じました。痛みは一日中続くわけではなく午前中は和らぎ、午後からまた別の箇所が痛くなり日替わりで移動する。自力で立ったり座ったりすることが出来ず、布団から出ることも出来ません。トイレは様式にもかかわらず便座に座ることも立ち上がることも下着の上げ下げも一人で出来ませんでした。入浴も浴室の椅子に座ることが出来ず、体や髪を洗うのはもちろん湯船に入るのも一苦勞でした。包丁を握れず皿一枚持つのも重く感じ主人には慣れない家事を度々手伝って貰いました。普段何気なくこなしている身の回りのことが一人では全く出来なくなり家族の助けがなければ何も出来ません。この強烈なリバウンドは15日間続きました。リバウンドを乗り越えてからも1年間ぐらいは日常生活に支障がない程度の痛みが続きました。右顎、右手首、右の足裏の痛みは特に長引きました。激痛とまではありませんが、今ひとつすっきりしない状態です。週末の漢方風呂、煎じ薬とお灸を毎日コツコツ続けました。(お灸はたまにサボりましたが…)治療を開始して1年半を過ぎた頃から痛みもほとんど気にならなくなりました。私の場合、アトピーは手の指先、脛にちょこっと繰り返し出る程度でした。鼻炎もいつの間にか治まっていたのですが、花粉が飛ぶ季節でもないのに、なぜか鼻水が止まらず酷い症状がときどきありました。治療を開始して1年9ヶ月、ついに先生からそろそろ手記を書き始めるよう言われました。今は朝のこわばりが少し気になる程度です。今年の夏は以前から興味があったトレッキングに挑戦しようとして計画中です。最後になりましたが松本先生、若先生、看護師の横山様、鍼灸師の早川先生、大変お世話になりました。